

小児

コーナー

あじま診療所
小児科 医師
森 英一

子どもの 事故防止



これまでも何度か「子どもの事故防止」について書いてきましたが、病気も予防が大切ですが、事故は予防が第一です。子どもたちの発達や行動パターンを良く知って、年齢にあった適確な対応をすることで、大部分の事故は防止できるといわれています。

今回は「やけど」についてです。

すぐできることとしては、小さな子のいる家では、「引っ張って、熱い飲食物が落ちてやけどをすることがあるので、テーブルクロスは使わない」「電気炊飯器から吹き出す蒸気によるやけどが増えており、子どもの手の届かないところに置く」「給湯器の湯温が50℃を超えないように設定する」などがあります。

子どもの目線で家の中を見直してみて、事故を未然に防ぐようにしましょう。

